

みんなで守り、みんなを守る 「沼田市SNSルール」

【SNS】ソーシャル(社会的)ネットワーキング(つながり)サービススマートフォン、ゲーム機、パソコン、タブレットなどのインターネットに接続できるもの(以下、スマホ等)を使って、「インターネット上で人とつながることのできる場」を広く指します。

GIGAスクール構想により整備された1人1台端末を日々の授業で活用する学びが実現し、今後はより一層、学校内外で積極的に活用していくことが考えられます。そこで、SNSの利用について「知る」「育てる」「整える」を踏まえ、「自分・友情・未来」を守るために、みんなで「沼田市SNSルール」を守っていきましょう。そして、各家庭においても、「SNSルール」を作成し、安全な環境を整えながら、かしこく使う力を育てていきましょう。

SNSの危険性を 知る

インターネット環境は日々変化しており、SNSを通じて児童生徒が事件やトラブルに巻き込まれる事案が発生しています。

誤解によるトラブル

- ・コミュニケーションアプリを使ってトークしていたが、自分が伝えたいこととは違う意味に受け取られ、いじめやけんかに発展した。

ネットいじめ

- ・悪口や誹謗中傷を書き込んだり、仲間はずれにしたりした。
- ・なりすましのアカウントを作り、特定の個人の悪口を投稿した。

不適切な投稿

- ・隠し撮りした画像や悪ふざけをしている画像をSNSに投稿した。

健康への悪影響

- ・睡眠障害、視力の低下などに影響がある。

知らない人との出会い

- ・SNSを通じて仲良くなった人が、会いたいと言うので会った。

自画撮り被害

- ・SNSで知り合った人から写真を送るよう催促され、初めは断っていたが、しつこく要求されたので送付した。

架空請求

- ・無料動画サイトを検索していたら、怪しいサイトに移行し、「登録完了」と表示され、高額請求された。

闇バイトへの勧誘

- ・楽に稼げると思い、SNSで応募していたら、犯罪グループから秘匿性の高い通信アプリでやり取りを指示され、個人情報や家族構成などの情報を渡した。

かしこく使う力を 育てる

勉強や生活の様々な場面では、使い方次第で自分の力を伸ばしたり、課題を解決したりすることができます。

～ デジタル社会を楽しく有意義に生きるために ～

○学校での学び

- ・デジタル教科書で学ぶ。
- ・デジタル教材で学ぶ。
- ・自分の考えを文書やイラストにまとめる。
- ・グループで意見交換や共同編集する。
- ・写真や動画に記録する。
- ・スライドを作成してプレゼンテーションを行う。

○SNSのよさ

- ・早く、簡単に世界中の情報を調べることができる。
- ・誰でも情報を発信することができる。
- ・オンラインでコミュニケーションを図ることができる。
- ・いつでも最新の情報を知ることができる。

～ デジタル社会を安全に安心して過ごすために ～

○デジタル社会の暮らし方

- ・たくさんのSNS、デジタル技術の中から、何を選び、何のために使うか自分で考えよう。
- ・情報の受信者として、「おかしいところはないかな?」と、気しながら調べよう。

○モラル・マナーの向上

- ・相手を思いやる
- ・礼儀を大切に
- ・責任をもつ
- ・我慢する気持ちをもつ
- ・ルールや法律を守る
- ・7つの約束「おぜのかみさま」を守る



安全な環境を 整える

安全に利用するための設定と環境づくりに取り組みましょう。

保護者

～ 機能制限(ペアレンタルコントロール) ～

子供の年齢に応じて、スマホ等の利用を制限するペアレンタルコントロール機能をうまく活用することが大切です。

○フィルタリングの効果

- ・不適切なサイト(犯罪やアダルトサイト等)をブロックできる。
 - ・有料アプリや課金アプリなどの購入を管理できる。
 - ・アプリやゲームの利用を制限できる。
 - ・利用状況のチェックができる。
- ※子供の年齢や使い方により、レベルが設定でき、利用したいサイト、SNS、アプリ等の個別設定もできます。

児童生徒

～ メディアコントロール ～

メディアを使う時間を自分でコントロールし、自律的にメディアを利用できる力を身に付ける取組

～ やってみよう! メディアコントロール 4つのチャレンジレベル ～

- ①朝から寝るまでノーメディア
 - ②メディア利用は1日__時間まで
 - ③夜__時以降は使用しない
 - ④MYレベル(自分で考えたレベル)
- あなたはどのレベルにチャレンジしますか?

メディアコントロールで生まれた時間を
充実させましょう!



「沼田市SNSルール」

守ろう

自分

友情

未来

【児童生徒が守る5つのルール】 <小学校中学年～中学生向け>

小学生は夜9時以降、中学生は夜10時以降、スマホ等は、保護者に預けるなど、1日の利用時間を保護者と決めて使います。

個人情報（氏名、住所、写真、動画、メールアドレス、ID、パスワードなど）は載せません。送れません。

相手の立場に立って考え、見た人が傷ついたり不愉快に感じたりする言葉は使いません。～「気づかい」「優しさ」「思いやり」を大切にします～（いじめ防止子ども会議より）

知らない人とやり取りしたり、実際に会ったりしません。

困ったことや分からないことがあったら、かくさず、すぐに、保護者や先生、相談機関に相談します。

【保護者の皆様への3つのお願い】

機能制限（ペアレンタルコントロール）やフィルタリングサービスを適切に設定してください。

子供と話し合い、家庭でのルールをつくってください。

子供の使用状況を確認してください。

【児童生徒・保護者で家庭のルールをつくりましょう】

ポイント

- ・ルールが、トラブルから自分の心と体を守ってくれることを家族で確認しましょう。
- ・大人が一方向的に押し付けるのではなく、家族で話し合って一緒に決めましょう。
- ・ルールが守られているか、家族で確認しましょう。
- ・発達段階に合わせてルールを見直しましょう。

例

- 時間**
 - ・利用は1日1時間以内
 - ・1回の利用は30分以内
 - ・利用は19～21時の間
- 場所**
 - ・リビング限定
 - ・家族のいるところ
 - ・テレビボードに保管
- マナー**
 - ・食事中オフ

※子供を危険から守ることができるのは保護者です。SNSを含むインターネットが利用できる端末を持たせることには保護者の責任が伴います。必要のないスマホ等は持たせないようにしましょう。

【こどもが まもる 5つのルール】

〈小学校低学年向け〉

しょうがくせい じ うち ひと
小学生は、よる9時には、スマホやゲームきなどをお家の人にあずけるなど、
いち じかん うち ひと
1日のつかう時間をお家の人ときめて、つかいます。

なまえ が
こじんじょうほう(名前、じゅうしょ、しゃしん、どう画、パスワードなど、だれだか
わかってしまうこと)は、のせません。おくりません。

て き かんが ひと き こと
あい手のきもちを考えて、みた人がいやなきもちになる言ばはつかいません。
～「きづかい」「やさしさ」「おもいやり」をたいせつにします～(いじめぼうしこどもかいぎ より)

し ひと あ
知らない人とやりとりをしたり、じっさいに会ったりしません。

こまったことや わからないことがあったら、かくさず、すぐに、お家の人や先生
はな に話します。

【保護者の皆様への3つのお願い】

機能制限(ペアレンタルコントロール)やフィルタリングサービスを適切に設定してください。

子供と話し合い、家庭でのルールをつくってください。

子供の使用状況を確認してください。

【児童生徒・保護者で家庭のルールをつくりましょう】

ポイント

- ・ルールが、トラブルから自分の心と体を守ってくれることを家族で確認しましょう。
- ・大人が一方向的に押し付けるのではなく、家族で話し合っ一緒に決めましょう。
- ・ルールが守られているか、家族で確認しましょう。
- ・発達段階に合わせてルールを見直しましょう。

例

時間

- ・利用は1日30分
- ・利用は20時まで

場所

- ・リビング限定
- ・家族のいるところ
- ・テレビボードに保管

マナー

- ・食事中オフ

※子供を危険から守ることができるのは保護者です。SNSを含むインターネットが利用できる端末を持たせることには保護者の責任が伴います。必要のないスマホ等は持たせないようにしましょう。